

事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表:令和4年5月2日

アンケート期間:令和4年4月6日～令和4年4月15日

事業所名 にじいろデイズ市川新田

従業者数(11) 回収数(11:割合100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	-	-	適切なスペースを取れるよう、利用人数を調節している。
2	職員の配置数は適切であるか	10	1	-	基準人数をもとに職員を配置している。 利用児童に合わせ、職員の人数を調整している。
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	-	利用児童が分かりやすよう、マークや写真を活用している。 また、体を動かす際に玩具を見えないところに隠すなど 児童に合わせ環境設定に配慮している。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	-	-	
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	-	-	
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	-	-	
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	1	-	毎年、5月にホームページにて自己評価を公開するため、職員、保護者に向けアンケートを行っている。
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	5	定期的な第三者による外部評価の実施を検討する。
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	3	-	感染症対策を実施した上で、外部研修にも時期を見て参加していく。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	1	-	現在より短い期間での細やかなアセスメントの実施を検討する。
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	-	新版K式発達検査、PARS等の検査を実施している。 全員に用いているものとそうでないものがある
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	-	-	
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1	-	個別支援計画をもとに支援内容を話し合い、レッスン内容に繋げている。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	-	-	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	-	レッスン後にその都度、次回に工夫すべき点をメモするようにしている。 また、職員間で話し合い次回に繋げている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	11	-	-	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	-	-	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	-	個別レッスン、集団レッスンとともに、レッスン後に利用児童の様子をその際出勤している職員間で話し合い共有している。 また、その他の職員にも後日、児童の様子を要点を伝えている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	-	-	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	-	-	6月に一度、児童発達支援管理責任者が個別支援計画をもとにモニタリングを行っている。

21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	-	-	-
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	-	地域の関連機関との連携を図り定期的に連携を取っている。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	-	非該当
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	非該当
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	-	-	定期的に行っている保育所等訪問支援を通して、支援内容や児の様子を情報共有し、相互理解につなげている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	-	-	-
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	2	-	電話等で連絡を取り、助言をいただくこともあるが、職員全体で研修等へ参加する頻度が少ないため、今後開催された際には参加していく。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	6	現在、感染症対策の一環として交流の機会を設けていないため、今後コロナウイルスの感染を配慮し交流の機会がないが、今後検討していく。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	7	3	地域のネットワークを活用し、連絡会等に参加しているが、職員への周知がなされていないため、都度周知していく。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	-	-	-
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	1	-	ペアアスクという名目でペアトレーニングを実施している。

32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	-	-	-
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	-	-	-
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	-	-	-
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	1	-	イベントの際に、保護者会の時間を設けるなど保護者の交流機会を作っているが、コロナウイルスの流行に伴い、機会が減ってしまった。状況を見ながら保護者会開催を検討していく。
36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1	-	レッスン状況により部屋の確保が難しい時もある為、保護者の相談や申し出に対応できるよう人員や個別で話せる環境を設定している。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	5	メールやLINE等を活用し、保護者に周知していただけるよう発信している。
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	1	-	鍵付きの保管庫を設置し、個人情報管理を行っている。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	-	-	-
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	5	事業所の存在について周知はしているものの交流の機会を図れていないため、感染症の状況を見ながら検討していく。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	3	-	マニュアルを活用し職員・保護者に再度、周知していく。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	2	-	日時によって、参加できない人が出てしまっている。日程調整を行っている。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	3	-	アセスメントシートをもとに、全体会議で利用児童の状況を共有し把握できるよう努める。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	3	1	現在、感染症対策として、食事場面を設けていないがアセスメントシートをもとに職員間でアレルギーの有無を共通認識していく。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	-	-	-
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1	-	毎月、全体会議を行いご利用者様の情報を共有している。また、研修機会も確保していく。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	3	1	契約時に保護者の方に説明をし、了承を得ている。